

花と木の実践養成教室

令和5年1月24日 (火)

バラの冬管理について

バラは、枝を更新することで元気な花を咲かせることができます。

枝をそのままにしておくと、上手く育たなくなります。つまり、バラは枝を更新していくことで、株自体を活性化し毎年よい花を咲かせます。

バラを栽培するためには、この作業(剪定)がとても重要となってきます。

ハイブリッドティ (HT)

四季咲きの大輪種で、品種も多く、花形や色も香りも豊富にあります。

フロリバンダ (F)

四季咲きの房咲き中輪種で、一枝に数多くの花を咲かせます。

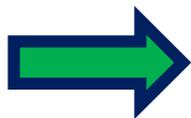
剪定 (1月中旬～2月上旬)

枯れ枝や細い枝を元から取り除き、昨年花を咲かせた枝やシュートを切ります。剪定する高さは、系統によって異なりますが、(HT)は剪定前の樹高の1/3位に、(F)は剪定前の樹高の1/2位に剪定するのが目安です。枝を切る時は、株の中心から外側にある(外芽)の5mm上で切ります。

ハイブリッドティ



剪定前



剪定後

フロリバンダ



剪定前



剪定後

今回は、ボランティアグループ(カトリア)の皆さんが活動されているバラ花壇で、一緒に行いました。



鉛筆より細い枝や枯れた枝は、枝元で切り取ります。残す枝の数は、5~7本くらいが理想的です。



堆肥と肥料を
入れる穴を開けます！



施肥は、1月～2月上旬までに行います。今回は株から30cm位離れた所に深さ30cm位の穴を掘り、1つの穴にバーク堆肥3ℓ・油粕300g・ヨウリン100g・硫酸カリ5gを配合して与えます。



穴に堆肥・肥料を入れて掘った土を半分戻して混ぜます。

混ぜ終われば、残りの土を全部戻して土をならします。



水をたっぷり与えるので、株元に水を溜めるための水鉢を作ります。



**植え付けた時は、水分が株全体に行き渡る様
たっぷりと与えます。
以降は、休眠期なので与えませんが、気温が
上がり葉が茂り出したら、水遣いを開始します。**

**最後に
雑草対策・乾燥防止
保湿効果・病気対策
の為にバーク堆肥で
マルチングします。**



**剪定と施肥が終わりました。
春の開花が楽しみです！
みなさん
ありがとうございました。**